

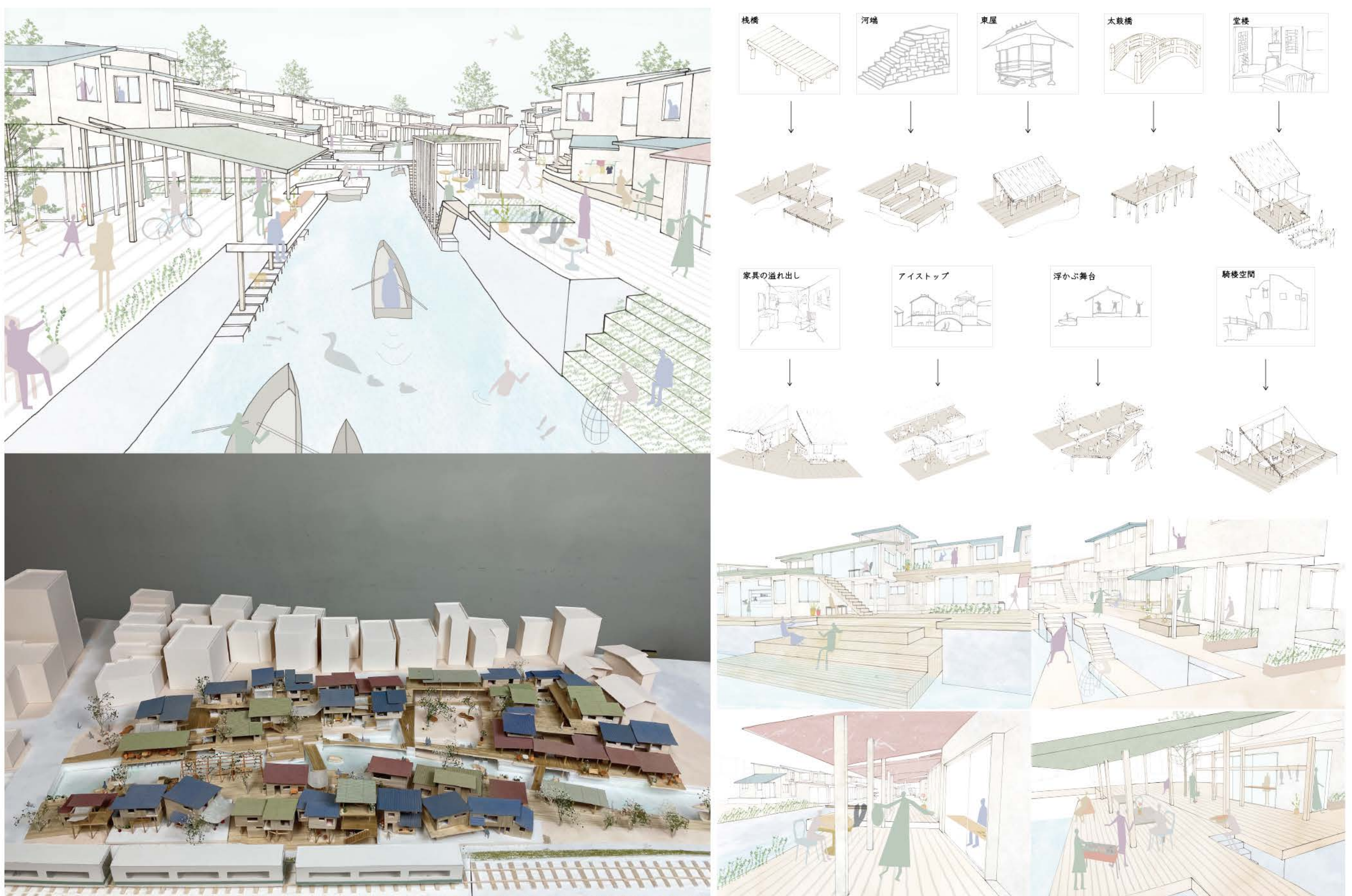
蘇る水辺の風景 ～商いと暮らしが混在する親水空間の提案～

山家・上野研究室 鎌田 芽萌

研究概要：アジアの他国では現在も水辺と共生した暮らしと風景が残っており、そこから見えてくる活動や空間構成をモチーフに現代的な親水空間へと再編し、商いと暮らしが混在する水辺における暮らしの場の提案。

研究目的：現代的なあり方を発見しアレンジしていくことで、水辺で暮らすことの豊かさと風景をつくり出し、新たなまちなみと暮らしを形成していく。

研究成果：



苦労した点や感想など：プライベートとパブリックの境界の繋ぎ方や人々の関わり方を丁寧にデザインしていくことに苦労しましたが、かつての水辺での暮らしを彷彿させるような豊かな雰囲気と、多機能が混在した建築群をひとつのつながりのある風景としてつくり出すことが出来たのでよかったです。